



テクニカル・メッセージ

アルミホイール・スチールホイールの履き替え時の留意点について

- スチールホイール、アルミホイールは、それぞれ専用のホイールボルト（JIS方式ではナットも）が必要です。スチールホイールからアルミホイールまたはアルミホイールからスチールホイールに履き替える場合は、それぞれのホイールボルト（JIS方式ではナットも）に交換してください。
- それぞれのホイールボルトやナットを混用すると、長さ（JIS方式では形状）が異なるため、ねじの底つきや嵌め合い不足によって、締付け力が十分得られず、ホイールボルトの折損やディスクホイールの破損による車輪脱落事故の原因となります。また、スチールホイールとアルミホイールの混用は行わないでください。

※一般社団法人 日本自動車工業会（2015年3月改定）

「車輪脱落防止のための正しい車輪の取扱いについて」から抜粋

【対象車両】全車

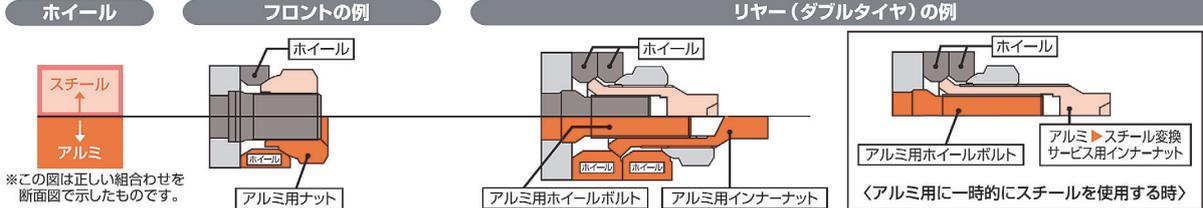
JIS方式（球面座）6穴・8穴

ホイール	スチールからアルミに履き替え	アルミからスチールに履き替え	アルミ用に一時的にスチールを使用する時（注1）
フロント	アルミ用のナットに交換（注2）	スチール用のナットに交換（注2）	スチール用のナットに交換
リヤ（ダブルタイヤ）	ホイールボルト、インナーナットをアルミ用に交換	ホイールボルト、インナーナットをスチール用に交換	アルミ用ホイールボルトを使用してスチールを履く場合のサービス用インナーナットに交換（注3）

注1:アルミホイールを履いた車両で、冬期間スチールホイールのスタッドレスタイヤを使用するような場合です。

注2:日野車は、ナットに加え、それぞれ専用のホイールボルトに交換します。

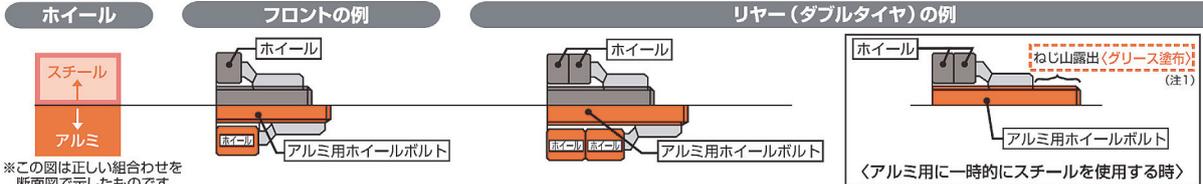
注3:再度、アルミホイールを履く場合には、アルミ用のインナーナットへの交換が必要です。



ISO方式/新・ISO方式（平面座）8穴・10穴

ホイール	スチールからアルミに履き替え	アルミからスチールに履き替え	アルミ用に一時的にスチールを使用する時
フロント リヤ	ホイールボルトをアルミ用に交換（ホイールナットは共用品）	ホイールボルトをスチール用に交換（ホイールナットは共用品）	そのままアルミ用ホイールボルトにスチールホイールを装着（ホイールナットは共用品）（注1）

注1:ボルトのねじ部がナットから通常より出っ張ります。露出したねじ部にグリースを塗るなどして、ねじ部の防錆を行ってください。



ホイールボルト、ナットの識別表示について

JIS方式（球面座）6穴・8穴

（2007年生産車から）



新・ISO方式（平面座）8穴・10穴

（2010年生産車から）



識別表示

ねじの方向	右ねじ	R
	左ねじ	L
ホイールの種類	スチール用	ST
	アルミ用	AL
	共用	S・A